



議員団が現地調査

信楽町にある滋賀県工業技術センター信楽窯業技術試験場が同町の「陶芸の森」への移転計画が明らかになっています。

移転計画そのものに異議はありませんが、「県の施設なのに、なぜ市が用地を購入するのか」、その経過と理由が明らかにされないまま進められていることに市民から疑問の声が上がっています。

日本共産党甲賀市議員団は12日に移転予定地と試験場を現地視察、また17日には試験場の場長らと懇談しました。

写真上は移転予定地、下は現試験場。10/28付け次号議員団ニュースで詳細を掲載予定。



来年の参院選や地方選での日本共産党の躍進・勝利をめざす「2018しが赤旗まつり」が14日、大津市の膳所（ぜぜ）公園で開かれ、1000人が参加。甲賀市日本共産党後援会も出店を出し楽しく交歓しました。

しが赤旗まつりに1000人



信楽窯業技術試験場移転



独立行政法人化、労働実態を質す

公立甲賀病院組合議会で小西議員が議案質疑、一般質問

10月9日に公立甲賀病院講堂で、平成30年第2回公立甲賀病院組合議会（定例会）（湖南市・甲賀市各5人の議員）が開催されました。主な議案は、病院の中期目標の設定、滋賀県市町村職員退職手当組合からの脱退、平成29年度

病院事業会計決算の認定、平成29年度組合議会会計決算の認定です。小西議員は3つの議案への質疑、一般質問を行いました。他に質疑と一般質問の発言通告は竹若議員（甲賀市）のみで、質疑の関連質問は田中議員（甲賀市）が行いました。

主な議案質疑

◆目標は4年とし具体的な中期計画は4月の臨時議会で決定とのこと。

◆滋賀県市町村職員退職手当組合からの脱退後の対応と財政負担については、退職手当組合への積立の合計額が、平成29年度

末試算での33億6千7百万円全額が還付される見込みで当面財政的負担はないとのこと。しかし、還付資金をこれまでの定期預金から国債や地方債などで運用する予定で規定はこれから作成とのことですが、要検討です。

地方独立行政法人とは

公立甲賀病院は来年4月1日から、これまでの湖南市・甲賀市の直接経営から別法人の「地方独立行政法人公立甲賀病院」としてスタートします。設立理由では「現行制度より経営の自由度が高く、責任体制が明確である」とされていますが、予算・決算の議会議決は不要。議会、市民のチェック機能は低下。

日本共産党は法人化そのものに反対していますが、決定された今は、公的医療の役割維持、医療サービスの低下、縮小・廃止、労働条件の低下を招かない立場で問題点を指摘しています。

◆独立行政法人化のため、今議会で最後の決算認定となる病院事業会計決算では、当期純損失が1億8870万円で、以下を質問。
①病院新改革プランの数値目標での評価、今後にかす経営改善の課題。②一般的な医療経営指標での分析結果はどうか。③湖南・甲賀両市の負担で対応している救急、高度医療、周産期医療などの不採算部門の部門別収支の分析。④業務委託費のその他主なものは何か。⑤決算監査報告書の要望事項として5点の管理者の所見はどうか。
この中で救急の受け入れ拒否率は9月から救急医の体制強化でこれまでの4

一般質問

5%から1%に改善したと、不採算部門の他会計繰入金は救急が1億7974万円、高度医療が1億6376万円、救急が6531万円が明らかに。
◆監査委員の指摘は、しっかりと受け止めいかしていくとの管理者答弁。

◆一般質問では以下の2項目を質問しました。

◆独立行政法人化にむけて課題や職員の労働条件等、労働組合との協議状況、経営改善の取り組みなどを質問。労働組合との協議は、全般的な内容でこれから始めるとの答弁。

◆職員の働き方について、超過勤務の実態、年次有給休暇などの取得状況、職員の健康管理対策、各職種の充足状況と確保対策を質問しました。
看護職員は減少傾向で随時採用試験を行っているとの答弁でした。

日本共産党
甲賀市議員団ニュース
2018年10月21日 第237号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696